



2022年
夏

高岡市議会議員

横田せいじのプロフィール

最新情報はこちらから

横田の 政治 せいじ りぽーと

SEIJI's
REPORT

第12号

Challenge your future!

- 自己紹介 ○生年月日 昭和55年5月13日(42歳)
高岡市内生まれ、美幸町在住
- 経歴 ○趣味特技 野球、空手、登山、スキー・スノーボード、読書
○川原小学校、高岡西部中学校、高岡第一高等学校、富山県立大学工学部卒業
○平成15年 高岡市役所入庁
『都市計画課(地域交通担当)』で、万葉線やコミュニティバスなどの公共交通政策に、『総務課(危機管理室)』で、防災や国民保護などの危機管理政策及び選挙業務に、『財政課(資金、財政・調査担当)』で、予算編成や起債、決算分析などの財政政策に携わる
- 市議会等での役割 ○平成24年 高岡市役所退職
○平成25年 高岡市議会議員(初当選)
○平成29年 高岡市議会議員(2期目)
○令和3年 高岡市議会議員(3期目)
○議会運営委員会 委員
○民生病院常任委員会 副委員長
○港湾・公共交通対策特別委員会 委員
○議会改革検討委員会 委員
○議会会派「自由民主党高岡市議会議員会」 幹事長(詳細はトビックス参照)
- 現役職資格等 ○全国若手市議会議員の会会員(2019-2020年度北信越ブロック代表)
○子宮頸がん予防ワクチン接種推進自治体議員連盟会員
○神道政治連盟富山県地方議員懇談会幹事
○遼寧ファン倶楽部会員
○富山県飲食業生活衛生同業組合高岡支部顧問
○公益財団法人高岡市体育協会理事
○高岡調理師会顧問
○高岡市スキー連盟副会長
○高岡市相撲連盟副会長
○高岡市消防団広報紙編集委員会委員(平成30年度)
○高岡市消防団和田分団員
○高岡市スポーツ推進委員
○茶道裏千家淡交会高岡青年部会員
○「生活者としての外国人」のための日本語教育事業運営委員会委員(平成30年度)
○高岡市立西条公民館運営委員会相談役
○国境なきUNDOKAI実行委員会監査
○万葉大茶会実行委員会2021実行委員長
○高岡青年コミュニティ会議議長(令和2年度)
○高岡商工会議所青年部財委員長(令和4年度)
○高岡青年会議所シニアクラブ副事務局長
○高岡青年会議所第49代理事長
○第30回ホームタウン実行委員長
○高岡カラコルムクラブ会員
○South Takaoka Gunners FC相談役
○南西リーグスポーツ少年団野球大会副会長
○高岡西部スポーツ少年団育成会副会長
○高岡西部スポーツ少年団育成会野球部顧問
○西条校区青少年補導委員会顧問
○西条校下体育振興会役員
○西条校下社会福祉協議会顧問
○西条こぼとキッズ運営協議会相談役
○国条橋運動広場管理協力会事務局長
○国条橋パークゴルフクラブ顧問
○美幸町自治会相談役
○美幸町高齢者見守り隊事務局長兼会計
○内免神明獅子舞保存会員
○高岡第一高等学校第3・8回生同窓会長
○高岡西部中学校同窓会副会長
○国際空手道連盟極真会館式段、審判資格
○(財)日本体育協会公認スポーツリーダー・スポーツ少年団認定員
○自由民主党富山県第三選挙区支部青年部長
○自由民主党富山支部連合会青年局幹事長
○自由民主党高岡市連合支部事務局長
○自由民主党高岡市連合支部青年局監事
○俳優 古村真人富山後援会事務局長
○映画「デンサン」実行委員会副会長

🔍 | 横田 せいじ

🖥️ 公式サイト
www.yokotaseiji.net/



📘 facebook
www.facebook.com/yokotaseijikouenkai/



📖 たかおか市議会だより



📷 Instagram
www.instagram.com/yokotaseiji/



編集・発行：高岡市議会議員
横田せいじ
〒933-0954 高岡市美幸町1-2-55
TEL：0766-25-4017
FAX：0766-25-4007
E-mail：office@yokotaseiji.net



新田富山県知事へ「令和の万葉大茶会2021高岡大会」の説明
 (大会を主催した「万葉大茶会実行委員会2021」実行委員長として訪問・説明)

上：第49回衆議院議員総選挙の自民党公認橋候補出陣式
 (自民党富山県第三選挙区支部青年部長として、ガンパロー主唱)
 下：議会会派役員で、市へ令和4年度予算に対する要望
 (幹事長として政調会長と共に要望取りまとめ)

ごあいさつ

平成15年の高岡市への奉職を振り出しに社会人となり、20年目を迎えました。

この間、一般職(市職員)及び特別職(消防団員・市議会議員)と、一貫して「全体の奉仕者」として、公共の利益のために全力を挙げてこれに専念してきました。

このような中、昨秋には後援会及び地域の方々をはじめとする市民各位の格別のご高配により、再々度、市議会議員として活動させて頂くこととなりました。皆さま方への感謝の思いを胸に、有権者、そして市民の皆さまの負託及び期待にこたえられるよう、これまでの経験を活かしながら、初心忘れずに、全身全霊で市の発展等に取り組む所存です。

現在、私は市議会では、自民党系議員で組織する議会内の最大会派「自由民主党高岡市議会議員会」の幹事長を、所属政党の自民党高岡市連では事務局長をそれぞれ拜命し、活動に当たっています。

3期目初年度にしてこのような重責を担い、会派及び政党の運営に携わらせて頂いていますが、これは、昨秋の市議会改選後の会派編成結果によるものであり、一連の経緯は新聞等で報じられたところですが、そこに至る私の考えを含めて支援者・市民の皆さまに明らかにし、開かれた政治の実現を公言する自身の責務を果たしたいと思えます。

そこで、市議会の改選直後に話を移しますが、当時は改選前の会派構成と各当選議員の所属政党をもとに分類して6つの勢力が存在しました。「社民党及び立憲民主党」で1つ、「公明党」で1つ、「自民党」で4つであり、自民の内訳として、改選前の旧「自由民主党高岡市議会議員会」、旧「自由民主党未来創政会」、旧「自民同志会」、そして「初当選組」です。(以下、それぞれ「旧議員会」、「旧創政会」、「旧同志会」、「初当選組」と表記。)

私を含めた、旧議員会のメンバーは、令和3年7月の高岡市長選で、自民党で決定した推薦候補者を応援した勢力ですが、改選後における市議会の会派編成に向けた私の考えは、「市長選挙で民意が示されたので、それを尊重すべき」、「党に反旗を翻して市議会の会派離脱をしたわけではないが、これまでの自会派及び党運営に強引さがあるなど、反省すべき点がある」、「選挙で市長及び議員が刷新された中、同じ黨員同士が対立を続けるべきではない」であり、ただし、「公人として、公金である政務活動費の使用に関して問題があった件は切り分けるべき」との考えです。この考えは、新任期の会派編成に向けて旧議員会の考えとして整理・共有されたものでもあります。



R4.1.15~16



R4.2.7



R4.2.6



R4.3.15

上：第36回日本海高岡なべ祭り
(高岡商工会議所青年部の仲間と共に海鮮シチュー鍋を担当)
下：第17回高岡市民体育大会スキー・スノーボード競技会及び
第47回高岡市スキー選手権大会
(市スキー連盟副会長として運営及び選手で出場)

上：自民党富山県連青年局主催「北方領土の日」街頭行動
(県連青年幹事長として運営)
下：自民党富山県連学生部ボウリング大会及び定期総会
(県連青年幹事長として企画・運営)

当該考えのもと、市長選を機に袂を分かった旧創政会と、新任期から共に活動していく方向で議論を進めました。そして、その実現に向けて、旧創政会が望んだ風通しの良い運営が進められるよう、新たな会派の会長職を譲るなど最大限の努力・譲歩を重ねました。

しかし、議論の途中から個人感情が表面化して混乱した中で、当初は切り分けることで合意していた「政治とカネ」に関わる会派の問題も取り払われ、より大きな形で会派を編成する方向で議論が進み、最終的には交渉決裂に至りましたが、その決定打となったのは会派の名称でした。

それは、私たちが会派運営の主導権を譲り、会派名称も捨てる覚悟で融和を実現しようとする中で、そこには旧同志会及び初当選組も加えた4つの勢力が存在し、各々が発展的解消を図ることになるとの点を踏まえ、旧創政会の呼称を変更せずに最大限同勢力を立てつつ、漢字表記の一部を平仮名にすることを今議論の落としどころとする提案が認められなかったためです。

端的に申し上げれば以上のようになりますが、私たちが協議しながら旧創政会側に譲歩を続ける中で、それと一線を画す形で、初当選組5名のうちの3名による会派結成（現「高岡愛」）の動きもありました。

また、私個人及び組織（旧議員会）で会派編成に係る最終判断を下すに当たり、その仲間と共に、議員や会派、議会のあり方も考えました。それは、高岡市などの地方自治体は国の議院内閣制とは異なり、首長と議会議員の両方を住民が直接選挙で選ぶ「二元代表制」をとっていること。そして、議会は首長と共に住民を代表する対等の機関として、地方自治体の方針を決定（議決）し、その執行を監視し、また積極的な政策提言を通して政策形成の場となるべきものであって、その発言及び行動する権利の全てを捨ててまで会派編成・合流は行うべきでないとの考えです。

以上の背景、考えがあり、会派名称の議論で私たち旧議員会の意見が尊重されなかったことを受けて、改選後の会派編成・合流を断念したものです。

冒頭、社会人となり20年目と申し上げましたが、この間、議会の会派分裂を間近に見て、実際に経験してきた私とすれば、同じ党員間での分裂状態を解消したかったとの思いがあり残念ですが、会派合流しないことをもって、首長・行政に対する尊重や、理解、応援、肯定の一切を否定するものではありません。それは、これまでの



R4.4.3



R4.4.23



R4.4.17



R4.4.29

上：高岡商工会議所青年部第104回定時総会・祝賀会
(人財委員長に就任)
下：第49回自民党高岡市連青年局・部定期総会
(監事として参画。議長を務める)

上：第70回自民党富山県連定期大会
(県連青年局幹事長として司会を務める)
下：第60回呉西地区実業団相撲選手権大会
(市相撲連盟副会長として参画)

議会での審議結果が示す通りです。

ちなみに、これは結果論となりますが、今回の会派編成・合流に係る議論で、少しでも各々が歩み寄っていたならば、また違った結果になったのではと推察するところであり、相手の主張を認めないかのような極端な考えは、議会及び議員の存在意義の否定に繋がりがかねないもので、避けるべきだったと考えています。

なお、ここまで申し上げた全ての内容は、私自身の考えと行動を説明したものであり、その是非を問うものではありません。最終的な是非の判断を下される場合は、他の議員及び会派の考えを踏まえるなどしてなされるよう申し添えます。

さて、これら会派編成議論の過程で自分たちが旧創政会側に申し出た、当選回数や年齢等に基づく、上位下連的で強引な点があるなどの、「旧態依然とした体制や方法によらない運営を行う」としたことの実践として、私が現会派の幹事長を担うこととなり、その後の各会派間の調整に当たった経緯から、党の事務局長を拝命するに至ったものです。

以来、議会では、議会諸役員の編成や特別委員会の設置、意見書作成や議会改革検討委員会の検討事項への対応、代表質問を通じた行政監視や政策提言、予算に対する要望に係る仕事を、党では役員の編成や県連・第三選挙区事業等への対応、市連の定期総会をはじめとする各会議の議案準備及び運営、参院選等の選挙対策に係る仕事など、数多くの重要な仕事に当たらせて頂いています。

今号では、昨年秋の第11号発行以後、私が議会最大会派の政務調査会長として登壇した昨年9月定例会の会派代表質問をはじめ、市議会改選の前と後にそれぞれ取り組んだ活動等をお伝えするものですが、役職や立場は変わっても、私はこの挨拶の冒頭に申し上げた「全体の奉仕者」として、公共の利益のために全力を挙げてこれに専念するものであり、混迷する議会の中で、議員や市職員、市民の皆さまから信頼される活動を続ける所存です。

結びに、新型コロナの感染拡大から3年目を迎えた今、その早期収束を願うと共に、罹患された皆さまの早期回復、亡くなられた方々のご冥福とご遺族の皆さまに心からのお悔みを申し上げます。そして、今年度の皆さまの益々のご健康とご多幸、ご活躍を祈念し、今号発行にあたってのご挨拶とします。

横田 誠二



議会活動 REPORT①

高岡市議会は年4回定例会を開催しており、全議員には提出された議案や市政一般に対して質問できる権利が与えられています。この権利をしっかりと使い、定例会で質問に立ちました。ここではその内容についてお知らせします。(詳細は横田せいじ公式HPに掲載)

令和3年9月定例会



高岡市議会9月定例会 金派代表質問
(政務調査会長として会派を代表して登壇・質問)

【新型コロナウイルス感染症対策について】

質問 新型コロナの拡大防止等が期待されるワクチン接種について伺うが、今般の第5波の感染拡大の特徴である若年層へのワクチン接種を進め、その流れを食い止めなければならない。

今月1日現在、まだ36歳以上の方が対象とのことだが、懸念されるのが、ワクチンの副反応や後遺症などの不安を主な理由に、接種を躊躇する傾向が若者世代に顕著に見られる点である。

このような中、魚津市では若者のワクチン接種を促すため、ワクチンを2回接種して申し込みを行った20～40歳の人に、抽選で商品券を贈る取り組みを行う旨の報道があった。

本市では、ワクチンを無駄にしない取り組みなど努力を重ねているが、今後は、まだ接種者が少ない若い世代に重点をおきながら、未接種の高齢者に呼びかけるなど、感染拡大と重症化を防ぐために、新型コロナのワクチン接種を迅速に推進すべきであり、その取り組みと見通しを伺う。



感染拡大と重症化防止に向けて、迅速かつ徹底的な接種の推進が求められる新型コロナワクチン。

答弁 本日(質問日の9月3日)から、30歳以上の方の予約を可能とし、8日からは満12歳以上の方が予約できるよ

う準備を進めている。今後は接種対象者の低年齢化や減少により、新たな課題が生じてくると考えており、より接種しやすい時間帯での予約枠の確保を目指し、平日夕方や週末の接種回数の比重を増やした新たな接種体制を13日から実施することとした。

これからも、状況に応じて的確に対応しながら、希望する市民のワクチン接種が11月末までに完了するよう進めていく。

質問 事業者対策について伺う。県では、国の「まん延防止等重点措置」の適用に伴う事業者及び県民への要請の中で、「第3次富山県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」等の経済支援策を打ち出している。

市長は104の具体策において、「新型コロナなど有事の際には、財政健全化緊急プログラムを一時停止してでも、弾力的な予算措置を行う」とする中で、今ほどの県の動きを踏まえて、補完あるいは上乗せするなど、新型コロナで影響を受けている、中小企業・小規模事業者や飲食業、その関連業種など、事業者への対応方針は。

答弁 本市独自の支援策として、現在、県が準備を進めている第2次「富山県飲食業関連事業者支援」の上乗せ支援を予定しているほか、国の地方創生臨時交付金の追加交付に伴う新たな事業者支援の検討も進めている。

これら検討中の支援策の迅速な対応に努めるとともに、感染状況を見ながら飲食店向けキャッシュレス還元キャンペーンに繋げていく。

今後も、切れ目のない事業者支援に努め、地域経済の維持・活性化を図っていく。

【本市の行財政運営について】

質問 本市の最重要課題である財政再建について。収支均衡を目指す中での財政出動のあり方、緊急プログラム後の長期的な視点に立った行財政運営に対する考えについて伺う。

現在対応中の新型コロナなど「①不測の事態に対する危機対応」、教育環境充実に向けて必要となる、「②学校施設の再整備」、昨年度学校に配備した「③ICT機器や空調設備等の一斉更新による新たな支出」、社会基盤整備や福祉に関する給付金等を含めた、「④104の具体策の実現に向けた支出」など、歳出にして数百億円規模の増加要因がある。これら施策の推進にしろ、市民に負担を求める行財政改革にしろ、全ては市民の理解と協力が不可欠である。

このような中、先月の8月30日(月)に104の具体策に関するロードマップが示されたが、政策の実施には予算を伴うので、我々議会と建設的に議論を交わしながら市政運営に当たられるようお願いする。

以上のことを踏まえ、今後の市政推進に向けて、長期的な行政・財政運営の見通しを立てると同時に、透明性を確保していくべきと考えるが、方針は。

答弁 健全な財政運営を維持しつつ、必要な施策を進めるためには、事業の選択と集中、効率的な手法への転換などに取り組むことが必要不可欠と考えている。

今後、施策や事業の見直しの実行にあたっては、市民等への情報発信や丁寧な説明を尽くし、市議会での議論、市民の意見を踏まえて進めていく。

【エコシティ(環境共生都市)について】

質問 今夏の大雨等を踏まえた、エコシティ＝環境共生都市に向けて伺う。

政府によれば、日本を始め世界中で観測されている顕著な降水や高温の増加傾向は、長期的な地球温暖化の傾向と関係しているとの見解が示されているとのことで、昨年6月12日、「令和2年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」の閣議決定を契機として、環境省では、「気候危機」を宣言している。

数十年に一度の大雨が毎年のように起きるなど、社会変革を求めるほどの自然災害が頻発し、それに関係する気候変動への取り組みが求められる中、本定例会で2050年カーボンニュートラルの実現に向けた関連予算が提案された。これは、ゼロカーボンへの取り組みを訴えてきた私たちとして、高く評価し、今後の市の動きに強く期待を寄せるものである。

そこで、気候変動への対応に向けた市の方針と全体スケジュールについて伺う。

答弁 未来を担うこともたちのため、「カーボンニュートラル」を達成しなければならないと考えている。まずは今年度、達成に向けたロードマップ・実行計画の策定に向け、本市の温室効果ガス排出量の把握・市全体の削減目標量の試算、再生可能エネルギー導入可能性の検討を行うこととしている。

策定作業を進める中で、カーボンニュートラル達成の見通しが立てば、ゼロカーボンシティ宣言を表明したいと考えており、市全体で気候変動対策・脱炭素化に取り組んでいきたい。

質問 市の公表による、2019年時点の本市における再生可能エネルギーの導入状況は97%が太陽光発電であり、他の再生可能エネルギーの導入可能性の検討が必要と言及されている通り、

気候変動をもたらす温室効果ガスの削減は、具体的施策と行動が必要である。

例えば、本県が米の産地である特性を活かした、廃棄米等を原料とした市指定ごみ袋の採用など、様々な切り口での対応・具体策が考えられる。

そこで、これら気候変動への対応に向けた新たな施策導入を含めた、グリーン施策推進にかける意気込みは。また、この推進に向け、今後の実施体制に対する所見は。

なお、前述のお米を原材料としたごみ袋の件は、既に南魚沼市の指定ごみ袋などで採用実績があり、カーボンニュートラルをはじめ、廃棄される備蓄米や精米時の碎米等の有効活用、耕作放棄地の有効活用と国土保全など、二重三重の効果が期待されるものである。

私としては、高岡地区広域圏はもとより、コストダウンや行政効率化等のためにも、「レジ袋無料配布廃止」施策のように、県全体で一体的に取り組むが実現すればと考えるところである。

答弁 2050年のカーボンニュートラル実現には、太陽光以外の再エネの活用や住宅の高断熱化等の省エネの徹底等、多面的な取り組みが必要と考えている。

市では、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを全市一体となって推進するため、庁内連絡会議を設置したところで、今後、実現性・技術面での課題等について同会議の中で検討し、脱炭素社会の実現に向けた施策を講じていく。

【持続可能な公共交通の構築に向けて】

質問 持続可能な地域交通の構築について伺う。今年度当初予算、そして今定例会に補正予算計上されている「市民協働型地域交通システム推進事業」について、これは、昨年の生活路線バスの一部廃線に伴い、交通空白地となった当該地区をカバーするための取り組みと伺っている。

我々「自由民主党高岡市議会議員会」としては、民でできることは民で行うこと、また、いわゆる地域バス先行例の小勢地区で、各世帯が3,000円を負担しているように、受益者負担を行うことを基本としている。そして、民業圧迫に配慮しながら、交通空白地解消に向けた対策を地域住民と協働で進めることは、住み良いまちとするために必要で、それに係る一定の財政支援は行うべきとの考えである。

そこで、既存のバス路線を踏まえた住民ニーズ、交通空白地及び不便地への対策に向けた市の考えと、全体方針は。

答弁 骨格的路線である鉄軌道・生活路線バスを維持しながら、交通不便地や空白地を含む地域と骨格的路線等をつなぐ市民協働型交通システムを導入していくことで、地域交通体系を再構築していくこととしている。

その導入にあたり、今定例会でも、実証運行のための予算を上程しており、今後、具体的な取り組みに踏み出す地域に対し、積極的な支援を展開していく。

【安全・安心なまちに向けて】

質問 市民生活の基礎となる、安全・安心なまちに向けて、火災をはじめとする各種災害等から市民の生命・財産を守る、消防・救命救急活動の体制強化について伺う。

消防指令事務は、射水市を除く県西部の5つの自治体で共同運用が進んでおり、双方の通信指令システムの全面更新が令和7年度に予定されていることから、これを契機とした指令事務の共同運用が望まれるところとなっていた。

しかし先般、射水市消防から、今回のシステム更新に合わせた共同運用には参画しない旨の回答を受けたとの報告を、本市消防から受けた。

回答の中で、射水市側はシステム更新に係る事業費の軽減、現場到着時間の短縮といったメリットを認めたものの、指令センターが自本部にない場合、災害に対して迅速、適切な対応が確保されるか不安があるためとのことだった。

一連の報告は、心情的な部分での判断だと思えるもので、ぜひ消防力強化や行政効率化等に向けて共に進めさせて頂ければと願うものである。

そこで改めて、効率的で質の高い、消防・救命救急体制の構築に向けた市の方針をお聞かせ下さい。

答弁 令和7年度に予定している県西部消防指令センターの指令システム全面更新にあわせての射水市の参加は実現に至らなかったが、現在、本市と射水市で行っている消防職員の人事交流を継続するとともに今後も共同運用の実現に向けて働きかけを行っていく。



令和7年度に予定されている通信指令システムの全面更新時に、射水市との共同運用が望まれた県西部消防指令センター。



地域活動 REPORT ②

議員活動は、「議会内」と「議会外」での活動に大きく分けられます。
「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」実現のため、議会外でも様々な活動を行っています。
ここではその内容についてお知らせします。



R3.10.2 令和の万葉大茶会2021高岡大会
(主催した「万葉大茶会実行委員会2021」実行委員長として、企画から運営まで大会任務全般を担う)



R3.12.15 自民党富山県連青年局高岡ブロック移動役員会
(この他、砺波及び呉東ブロックでも開催)



R3.8.15 新型コロナウイルス感染終息及び第95回富山県青年相撲選手権大会・第21回富山県小学生相撲優勝大会開催祈願
(高岡市相撲連盟副会長として運営)



R3.11.18 自民党富山県連青年局執行部役員会
(県連青年局幹事長として運営)



R3.12.22 富山県建設業協会青年委員会と自民党富山県連青年局との意見交換会
(県連青年局幹事長として運営)



R3.8.26 「令和の万葉大茶会2021高岡大会」のPRに向けたラジオ出演
(FM FUJI ニホンのナカミ DJ竹田恒泰)



R3.12.15 自民党高岡市連全体役員会
(役員改選に伴い、事務局長に就任)



R4.1.13 第1回参議院選挙対策「PT野上」
(自民党富山県連設置のプロジェクトチームメンバーに選出)



R4.2.10

党本部主催「自民党学生部全国協議会
(仮称)第2回設立準備委員会」
(富山県連青年局幹事長として学生部長等と参画)



R4.3.25

自民党富山県連青年局主催
「第10回公募提案型政策コンテスト」
事前オリエンテーション
(県連青年局幹事長として運営)



R4.4.23

自民党富山県連青年局定期総会及び第10回
公募提案型政策コンテスト
(県連青年局幹事長として運営)



R4.3.7

自民党富山県連青年局執行部役員会
(県連青年局幹事長として運営)



R4.4.16

高岡古城公園相撲場清掃
(市相撲連盟副会長として参画)



R4.5.11

高岡商工会議所青年部5月例会
(委員長を務める人財委員会にて例会を企画・運営)



R4.3.12

高岡商工会議所青年部3月例会
(例会を担当した会員開発委員会の副委員長として
企画・運営等に携わる)



R4.4.21

高岡商工会議所青年部におけるOB・OGと
の交流事業



R4.5.13

富山県商工会青年部連合会と自民党富山県
連青年局との意見交換会
(県連青年局幹事長として運営)

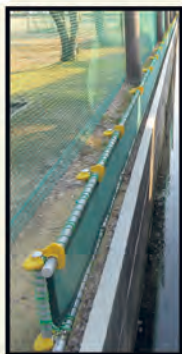


トピックス REPORT③

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題（トピックス）があります。
ここではその内容についてお知らせします。

課題、要望の解決・実現

防砂ネット整備



側溝の雨水排水機能の確保
及び住環境改善のため、
高岡西部中学校グラウンドに防砂ネットを新設

自治会公民館改修支援



地域コミュニティ強化等に向けて、
昭和町地内の自治会公民館改修を支援

道路改修



交通安全、内水害対策等のため、
内免地内の側溝を整備



トピックス REPORT③

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題（トピックス）があります。
ここではその内容についてお知らせします。

課題、要望の解決・実現

国条橋パークゴルフクラブが
「とやま県民スポーツ大賞」を受賞

平成18年2月に、美幸町をはじめとする西条地区等の皆さまと「国条橋運動広場管理協力会」及び「国条橋パークゴルフクラブ」を創設。
同年10月に、地域住民の健康増進や生きがい対策等のために、国条橋河川敷を運動広場として整備。
以来、地域の力で維持管理を続け、本年3月に富山県から表彰されました。



整備前（平成18年10月）



草刈り、整地



草刈後集合写真
(広場を整備した美幸町等の皆さんと)



砂入れ



整備後



芝生を植えた後の
広場の様子
(平成25年7月)



大雨で水没、
その後の復旧作業
(平成25年8月)



度重なる水害
(平成25年9月)

上記をはじめ、関係各位のたゆまぬ努力により、
令和4年3月「とやま県民スポーツ大賞」を受賞



役員就任

- 高岡市議会会派「自由民主党高岡市議会議員会」 幹事長
昨年11月、高岡市議会議員選挙後の市議会の会派再編成に伴い、幹事長に就任
- 子宮頸がん予防ワクチン接種推進自治体議員連盟 会員
昨年11月の設立総会において、会員として参画
(※設立総会時、67市区町村、25都道府県の126人の地方議員が参加する超党派組織)
- 神道政治連盟富山県地方議員懇談会 幹事
昨年11月の総会において、幹事に就任
- 自由民主党高岡市連合支部 事務局長
昨年12月の全体役員会において、事務局長に就任
- 高岡商工会議所青年部 委員長
本年1月の定時総会において理事に選任され、
人財委員会の委員長に就任
- 令和4年参議院選挙対策「PT野上」 メンバー
本年1月、夏の参院選に向けて自民党富山県連が設置したプロジェクトチームのメンバーに、県連青年局幹事長として選出(同年5月の自民党富山県連定期大会で選対戦略企画局に移行)
- 高岡青年会議所シニアクラブ 副事務局長
本年2月の総会において、副事務局長に就任
- 西条こばとキッズ運営協議会 相談役
本年5月の役員総会において、相談役に就任
- 高岡市議会関連の各役職
昨年の「高岡市議会11月臨時会(組織議会)」
において、次の役職に就任。
(※特別委員会は、本年の高岡市議会3月定例会で
設置されたことに伴い就任)
 - ・議会運営委員会 委員
 - ・民生病院常任委員会 副委員長
 - ・港湾・公共交通対策特別委員会 委員
 - ・議会改革検討委員会 委員
 - ・小矢部川中流水害予防組合議会 議員
 - ・民生委員推薦会 委員
 - ・交通安全対策委員会 委員